SIEMENS

取扱説明書



シグマギア 暖房調節器

RVL480

| - 目次 - | ページ |
|--|---|
| 1. 施工および取扱 2. 調整 | 2 3 |
| 3. 配線•接続 | 6 |
| 4. 設定操作 | 7 |
| 4.1 〈ユーザーレベル〉設定テーブル 4.2 〈エンジニアレベル〉設定テーブル 4.3 プラント形式 4.4 パラメータリスト 4.4.1 暖房ゾーン制御 4.4.2 3位置制御用アクチュエーター使用時の設定 4.4.3 ボイラー制御時の設定 4.4.4 還水温度リミット設定 4.4.5 プラントタイプ 3 の設定 4.4.6 <サービス機能,基本機能>の設定テーブル 4.4.7 接点入力「H2」のデマンド機能設定 4.4.8 接点入力「H2」の機能設定,一般表示機能 | 7 8 9 9 9 10 10 10 11 12 12 |
| 5. 外形寸法 | 13 |

▲ 本説明書は、調節器の近く(盤内)に保管して置いてください!!

1. 施工および取扱

取付場所

周囲温度(0...50℃)で結露の無い室内

- 設置方法
 - ・制御盤内(中板直接またはDINレール取付)
 - 制御盤表面

配線

- 電気配線基準に適合した配線を行ってください。
- 調節器に負荷(引張)がかかる配線は避けてください。
- 調節器より制御弁のアクチュエータおよびポンプへの配線は、システムにより AC24V...230V 電源となります。
- 検出器およびデータバス等の弱電配線は、強電配線と並行して施工しないで ください。誘導障害の恐れが有る場合、シールド線を使用してください。

許容配線長 (参考値)

| _ | 全ての | 検 | 出器 | | |
|---|-----|---|----------------------|----|-------|
| | 銅線 | : | 0.6 mmφ | 最長 | 20 m |
| | 銅線 | : | 1.0 mm ² | 最長 | 80 m |
| | 銅線 | : | 1.5 mm ² | 最長 | 120 m |
| | 室内コ | 1 | ット 205 2 | | 05 |
| | 銅線 | : | 0.25 mm ² | 最長 | 25 m |
| | 銅線 | : | 0.5 mm ² | 最長 | 50 m |

データ・バス
 0.75...2.5 mm²
 メーカー仕様

取付および配線

盤内中板直接取付

- 1. 調節器本体よりベースを外します。
- 2. ベース上部の《TOP》の印が上になるようにベースのビス穴を利用し 中板にベースを直接ビス止めします。
- 3. 配線は、ベース上部および下部のノックアウトより行います。

DINレール上の取付

- 1. DIN レールを中板に取り付けます。
- 2. 調節器本体よりベースを外します。
- 3. ベース上部の《TOP》の印が上になるようにベースを DIN レールに固定します。

盤表面取付

- パネル厚み : 最大 3 mm
- パネル・カット寸法 : 138×138 mm (+1/-0 mm)
- 1. 調節器本体よりベースを外します。
- 2. パネルカット背面よりベース上部の《TOP》の印が上になるようにベースを 差し込みます。
- 3. ベースの4ヶ所の[つめ]がベースをパネルに固定します。

- 4. ベース側面の2ヶ所長つめを外側(ベースと平行)に押し出しベースをパネルに 固定します。(下記の図を参照)
- 5. 配線は、ベース上部および下部のノックアウトより行います。



不適な設置

適正な設置

ベースの長つめをカットの外側へ押し、ベースと平行にする。

2. 調整

▲ 電源 OFF 確認

調整前チェック

- 1. 調整前チェックでは決して電源を投入しないでください。
- 2. 現場のシステム配線図に従い配線チェックをしてください。
- 3. 調節器本体をベースに固定する前に調節器本体側面 2 ヶ所の固定ロックが所定 の位置にあるかどうか確認してください。(下の図を参照) 所定の位置に無い場合にはカバー押さえネジを廻して位置合わせをしてください。



- 4. 調節器本体の《TOP》の印が上になるように調節器本体をベースに差し込んで ください。
- 5. 調節器本体のカバー押さえネジを互いに少しずつ廻して調節器本体をベースに 固定してください。
- 6. 操作部のチェック (スリッパー弁等)
 - 弁の取付状態(温水の流れ向き)を確認します。
 - 弁のスリッパー動作(回転角)が正常であることを確認します。(開度表示を参照)
 - アクチュエータが自動操作であることを確認します。
- 7. 床暖房および天井暖房システムの場合

リミットサーモスタットが正常な値に設定されているか確認します。 (試運転調整中に送水温度が許容値〈通常 55℃〉を越えないようにします。) もし許容値を超えた場合には、下記の対処をします。

- 弁を手動にして (閉) にする。
- ポンプを停止する。
- ▲ 電源 ON 8. 1~7 の確認が終わりましたら調節器の電源を投入します。

調節器の LCD 表示には (例えば 時間等) 何か表示されます。 表示が無い場合には、下記のチェックをします。

- 電源が来ていない。
- 電源のヒューズが溶断している。

操作上の一般説明事項

- 立上げの為の設定
 - ・送水温度特性・カーブ : 送水温度設定スライダによる設定
 - その他の値
 ディスプレイのオペレーティング・ラインによる設定

- データ設定および選択用ボタン

- ▼ 次 (表・下) のオペレーティング・ラインの呼び出し
- ▲ 前 (表・上) のオペレーティング・ラインの呼び出し
- ▲ 表示値 (オペレーティング・ライン) の増加
- ▶ 表示値 (オペレーティング・ライン) の減少

一設定値(データ)の登録(書き込み)
 設定値は、次または前のオペレーティング・ラインを呼び出すことにより、
 自動登録されます(Infoボタンを押しても同様)

- 表示 (--.-)または(--:--:)の登録

◀ または ▶ のボタンを希望する表示が出るまで押します。

自動登録されます(Info ボタンを押しても同様)

ー ブロック・ジャンプ・ファンクション

現在のオペレーティング・ラインから前のブロックまたは次のブロックへの ジャンプ用ボタン操作

- ▼ および ▶ 同時 : 次のラインブロックへジャンプ
- ▼ および 🖌 同時:前のラインブロックへジャンプ

設定操作手順

- 1. 送水温度特性カーブ (スライダ)の設定
- 2. オペレーティング・ライン (1...41:ユーザー用) の設定 参照:ユーザーレベル設定テーブル (P7)
- 3. プラント形式オペレーティング・ライン (51) の設定 参照:プラント形式の設定 (P8)
- 4. 設定されたプラント形式の詳細パラメータの設定
 - リストに従って各プラント形式に必要な全ての機能を設定します。
 不要なオペレーティング・ラインは、ロックされます。(P9~P10)
- 5. 必要な場合のサービス機能の設定 参照:サービス機能、設定テーブル (P11~P12)

コミッショニングおよび動作チェック

- 動作チェックの為の特別なオペレーティング・ライン
 - ・161 = 外気温度シミュレーション
 - 162 = リレー・テスト
 - ・163 = 検出器・テスト
 - 164 = H 接点状態表示
- エラー表示 ♀ が出たら、オペレーティング・ライン 50 で内容確認可能
 参照:ユーザーレベル設定テーブル (P7)

RVL480前面(設定、表示、操作部)



- 1 運転モート・・・ボタン
- 2 LCD 表示部
- 3 選択 (Prog)および 設定(+-)ボタン
- 4 押ボタン= バルブ [閉] or 2 段目 バーナー ON/OFF
- 5 押ボタン = バルブ[開]
- 6 押ボタン = 手動操作 [ON]

7 LED 表示

- → 手動操作
- □ / ▲ バルブ [開]/1 段目 バーナー [ON]
- ヘ /▼ バルブ [閉]/2 段目 バーナー [ON]
- トレンプ [ON]
- 8 カバー・シーリング
- 9 インフォ (Info)・ホ・タン
- 10 送水温度設定用スライダ(外気温度 -5℃)
- 11 送水温度設定用スライタ(外気温度 15℃)
- 12 室内温度調整用設定つまみ
- 13 ベース固定ネジ

3. 配線·接続

- A6 室内エット QAW50 または QAW70
- **B1** 送水 or ボイラー温度検出器
- B5 室内温度検出器
- B7 還水温度検出器(1次側)
- B71 還水温度検出器(2次側)
- B9 外気温度検出器
- E1 2段バーナ
- F1 リミットサーモ (サーマルリセット)
- F2 リミットサーモ (マニュアルリセット)

LPB データバス(Local Process Bus)

- M1 循環 または、ボイラーポンプ
- N1 調節器 RVL480
- S1 運転モード切替接点(H1機能)
- S2 デマンド機能切替接点(H2機能)
- **Ux** ヒートデマンド出力
- Y1 最少リミットストローク信号(制御弁より)
- * 地域暖房、パラメータロック必要時に短絡

基本配線端子(電源および弱電側接続例)

基本配線端子(強電側接続例)

4. 設定操作

4.1 〈ユーザーレベル〉設定テーブル

[Prog キー] ▲ or ▼ を押すことにより 〈ユーザーレベル〉 設定テーブルに入ります。

| ライン | 機能説明 | 工場設定 | 設定レンジ | 設定 | 説明お。 | よび備考 |
|-----|--|--|----------------------|-----|---|---|
| 1 | 「通常暖房」設定値 | 20.0 °C | 0~35 | ℃ | | |
| 2 | 「セットバック暖房」設定値 | 14.0 °C | 0~35 | ℃ | | |
| 3 | 休日モード設定/凍結防止 | 10.0 °C | 0~35 | ℃°… | | |
| 4 | ウィークディ(暖房プログラム) | 1~7 | 1~7 | | 1 = 月曜 2 = 火曜 7 = 日曜日 1~7 = 全日 | |
| 5 | 1ST 「通常暖房」 開始時間設定 | 6:00 | 00:00~24:00 | | ••:•• = 不使用 | プラント形式 |
| 6 | 1ST「セットバック暖房」開始時間設定 | 22:00 | 00:00~24:00 | | ••:•• = 不使用 | 4,5,6の 場合には、 |
| 7 | 2ND 「通常暖房」 開始時間設定 | ••:•• | 00:00~24:00 | | ••:•• = 不使用 | 適用されません。 |
| 8 | 2ND「セットバック暖房」開始時間設定 | ••:•• | 00:00~24:00 | | ••:•• = 不使用 | |
| 9 | 3RD「通常暖房」開始時間設定 | ••:•• | 00:00~24:00 | | ••:•• = 不使用 | |
| 10 | 3RD「セットバック暖房」開始時間設定 | ••:•• | 00:00~24:00 | | ••:•• = 不使用 | |
| 11 | 休日指定(8グループ) | - | 1~8 | | | |
| 12 | 休日開始日設定 | ••:•• | 01.01.~31.12 | | 日/月 | |
| 13 | 休日最終日設定 | ••:•• | 01.01~31.12. | | 日/月 | |
| 14 | ヒィーティンクカーブ, 外気温 +15℃における 送水温度 TV1 の設定 | 30 °C | 20~70 | ℃ | ライン番号 73 の設な | をが1または2の *カーゴの |
| 15 | ヒーティングカーブ,外気温 –5℃における 送水温度 TV2 の設定 | 60 ℃ | 20~120 | ℃ | 設定をデジタル設定 | にしたときに有効) |
| 38 | 現在の時刻設定 | | 00:00 ~ 23:59 | | 時間 | : 分 |
| 39 | 現在の曜日設定 | | 1~7 | | 1 = 月曜, 2 = ノ | 火曜 7 = 日曜 |
| 40 | 現在の日付設定 | | 01.01.~31.12 | | 日 | /月 |
| 41 | 西暦の設定 | | 1995~2094 | | 西 | 暦 |
| 50 | т⋽─表示 | 表示機能 表示例 <u>50</u> 102203 Prog 10 = エラーコート [*] 2 = セグメン No 03 = ユニット No | | | 10 = 外気温 30 = 送水温 40 = 還水温 42 = 還水温 60 (二次温 61 = 室内ユニ 62 = 室内ユニ 81 = 違う・タハ 100 = パスアト 120 = パスアト 140 = ズスタ 140 = ごま 140 = パス(タ 二 水温 (LPB) | 度検出器エラー 度検出器エラー 度検出器エラー 削回路) 度検出器エラー 削度検出器エラー に た た 、 に し た に た に た に た に た に た に た に た に た に た に た に た に た に た に た に た に た い に た っ い に で っ い に う ー た っ い に う ー た っ い た う ー た っ い た う ー た っ い た う ー た っ い た う ー た っ し た い た う ー た っ し て う ー た っ い た で う ー た 、 た い た で う ー た 、 た 、 し に り ら 、 た 、 た 、 た 、 た 、 し た の た っ に っ ー た 、 た た っ た 、 し た の た 、 し た の た 、 し た の た 、 し た の た 、 し た の た 、 し た の た 、 し た の た 、 し た の た 、 し た の た 、 し た の た 、 し た の し 、 つ の で う ー 、 ん い て う ー 、 ん 、 て う ー 、 ん 、 て う ー 、 ん 、 て う ー 、 ん 、 て う ー 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 |

4.2 〈エンジニアレベル〉 設定テーブル

[Prog キー] ▲ or ▼ を同時に約3秒押すことにより 〈エンジニアレベル〉 設定テーブルに入ります。

「オペレーティングライン "51" によりプラント形式を登録します。」

| ライン | 機 能 説 明 | 工場設定 | 設定レンジ | 設定 | 説明および備考 |
|-----|---------|------|-------|----|------------------|
| 51 | プラント形式 | 1 | 1~6 | | 以下のプラント形式から番号を登録 |

4.3 プラント形式

- 外気温度検出器

暖房調節器 RVL480

4.4 パラメータリスト

4.4.1 暖房ゾーン制御

| ライン | 機能説明 | 工場設定 | 設定レンジ | 設定 | 説明および備考 |
|-----|---------------------------------|---------|----------------------|------|---|
| 61 | 暖房リミット「通常暖房」 (ECO day) | 17.0 °C | ・・・・ または -5~+25 ℃ | °C | ・・・・ = 機能無効 |
| 62 | 暖房リミット「セットバック暖房」 (ECO night) | 5.0 °C | ・・・・ または -5~+25 ℃ | ℃ | ・・・・= 機能無効 |
| 63 | 建築の構造による時定数 | 20 h | 0~50 | h | 軽構造:10h, 中構造:25h, 重構造:50h |
| 64 | 急速セットバック | 1 | 0/1 | | 0 = 無効, 1 = 有効 |
| 65 | 室内温度入力 (機種) 設定 | A | 0/1/2/3/A | | 0 = 室内ユニット不使用 1 = 端子 A6 に室内ユニット接続 2 = 端子 B5 に室内検出器接続 3 = 2 台の室内温度(入力 A6 と B5)の 平均 A = 自動選定 |
| 66 | 最適起動/停止制御タイプ(方法) | 0 | 0/1 | | 0 = 室温モデルによる (最適起動のみ 可能) 1 = 室内ユニット/室内温度検出器による |
| 67 | 最大前詰運転時間(起動前) | 0:00 | 00:00~42:00 | h | 最大前詰運転時間設定 (通常暖房開始前) 設定 = 00:00 の場合前詰運転無効 |
| 68 | 最大前詰停止時間(停止時) | 0:00 | 0:00~6:00 | h | 最大前詰停止時間設定 (通常暖房停止前) 設定 = 0:00 の場合前詰停止無効 |
| 69 | 室内温度最大৷ৼット | °C | ・・・・・ または 0~35 | ℃ | ・・・・・ 設定 = リミット機能無効 室内ユニット または 室内温度検出器接続 時のみ機能有効 |
| 70 | 室内温度による効果 | 4 | 0~20 | | 室内温度効果による補償値 室内ユニット または 室内温度検出器接続 時のみ機能有効 |
| 71 | ブースト時の室内温度設定加算値 | 5 °C | 0~20 | … °C | |
| 72 | 送水温度カーブのシフト | 0.0 °C | -4.5~+4.5 | °C | 室内温度換算値(データバス経由リモート 設定時のみ) |
| 73 | 送水温度カーブ調整方法 | 0 | 0~2 | | 0 = アナログ調整(調節器設定スライダー) 1 = デジタル調整(調節器またはバスから) 2 = デジタル調整(バス経由のみ) |

4.4.2 3 位置制御用アクチュエータ使用時の設定

| ライン | 機 能 説 明 | 工場設定 | 設定レンジ | 設定 | 説明および備考 |
|-----|-------------------|---------|------------------|----------|--------------------------------------|
| 81 | 送水温度最大 「パット | ℃ | ・・・ または 0~140 | ℃ | … 設定の場合:機能無効 |
| 82 | 送水温度最小児ット | °C | または 0~140 | ℃ … | … 設定の場合:機能無効 |
| 83 | 送水温度最大上昇率 | | または 1~600 | °C/h | … 設定の場合:機能無効 (配管内のクラックノイズ防止用など) |
| 84 | 一次側送水温度加算値(⊿w) | 10 °C | 0~50 | ℃ | ー次側調節器の設定値は二次側ゾーン 調節器の設定値 +∠w となる |
| 85 | バルブ操作器動作時間 | 120 s | 30~873 | s | |
| 86 | 比例帯設定(Xp) | 32.0 °C | 1.0~100.0 | … ℃ | |
| 87 | 積分時間設定(Tn) | 120 | 10~873 | S | |

4.4.3 ボイラー制御時の設定

| ライン | 機能説明 | 工場設定 | 設定レンジ | 設定 | 説明および備考 |
|-----|---------------------|----------|-----------------|---------------|--|
| 91 | 運転モード | 0 | 0/1 | | 0 = マニュアルシャットダウン(② キーにて) 1 = 自動シャットダウン(ヒートデマンド無し時) |
| 92 | ボイラー温度最大リミット | 95 ℃ | 25 ~ 140 | °C | 注:過熱保護機能として使わないこと |
| 93 | ボイラー温度最小リミット | 10 °C | 5 ~ 140 | °C | |
| 94 | スイッチンク゛テ゛ィファレンシャル | 6 ℃ | 1~20 | | |
| 95 | バーナー最小運転時間 | 4 min | 0~10 | | |
| 96 | リリースリミット(2 段目バーナー用) | 50°Cxmin | 0~500 | ℃ xmin | |
| 97 | リセットリミット(2 段目パーナー用) | 10°C∙min | 0~500 | ℃· min | |
| 98 | ディレータイム(2 段目バーナー用) | 20 min | 0~40 | min | |
| 99 | 運転モード(ポンプM1) | 1 | 0/1 | | ホイラー温度<最小リミット温度(ホイラー立 上げ時の補償が必要な場合) 0 = 熱源ホ [°] ンプ [°] M1 連続運転(補償無 し) 1 = 熱源ホ [°] ンプ [°] M1 自動停止(補償必 要) |

4.4.4 還水温度リミット設定

| ライン | 機 能 説 明 | 工場設定 | 設定レンジ | 設定 | 説明および備考 |
|-----|------------------------------|------|--------------|----|---|
| 101 | 一次側還水温度リミット設定 (最大/最小 固定値) | °C | または 0~140 | ℃ | … 設定の場合 : 機能無効 プラントタイプ 1, 4, 5 : 最小リミット温度 プラントタイプ 3, 6 : 最大リミット温度 |

4.4.5 プラントタイプ 3 の設定

| ライン | 機能説明 | 工場設定 | 設定レンジ | 設定 | 説明および備考 |
|-----|----------------------------|--------|----------------------|---------|--|
| 112 | 一次側還水最大リミット温度(傾き) | 0.7 | 0.0~4.0 | | TR 固定値 (101) 傾き (112) 始点 (113) |
| 113 | ー次側還水最大リミット温度 (始点シフト) | 10 ℃ | -50~+50 | ℃ | └─── → -TA |
| 114 | 一次側還水最大リミット温度 (積分動作:時間) | 30 min | 0~60 | min | 還水温度最大リミット制御 及び 一次側/二次側還水温度差リミット制御 用 |
| 115 | 最大温度差設定 (一次側~二次側) | °℃ | ・・・・ または 0.5~50 ℃ | ℃ | 一次側/二次側還水最大温度差 |
| 116 | 最小リミットストローク (Y min 機能) | 6 min | ・・または 1~20 | min | ー次側還水最小流量以下で動作 (H4-Mにストローク接点入力時) 設定時間内は、2方弁を全閉 |

4.4.6 <サービス機能,基本機能>の設定テーブル

| ライン | 機 能 説 明 | 工場設定 | 設定レンジ | 設定 | 説明および備考 |
|-----|--|--------|-----------------------|----------|---|
| 161 | シミュレーション(外気温度) | °C | ・・.・または -50~+50 | ℃°℃ | シュミレーションは、30 分後自動終了します。 ・・・・設定 = 機能無効 |
| 160 | リレーテスト バルブ制御を含む暖房制御の場合 (プラントタイプ1, 3, 4, 6 の場合) | 0 | 0~4 | | 0 = 通常制御 (リレーテスト無し) 1 = 全リレー OFF 2 = 加熱弁 開 (Y1:ON) 3 = 加熱弁 閉 (Y2:ON) 4 = 循環ホ [*] ンフ [*] /ホ [*] イラーホ [*] ンフ [*] ON(Q1:ON) リレーテスト終了するには、次のラインに進む または 30 分後自動的に終了 |
| 102 | リレーテスト ハーナ制御を含む暖房制御の場合 (プラントタイプ2, 5 の場合) | 0 | 0~4 | | 0 = 通常制御 (リレーテスト無し) 1 = 全リレー OFF 2 = バーナ 1 段 (K4 出力) ON 3 = バーナ 1 段(K4 出力), 2 段 (K5) ON 4 = 循環ポンプ/ボイラーポンプON(Q1:ON) リレーテスト終了するには、次のラインに進む または 30 分後自動的に終了 |
| 163 | 検出器テスト(計測値,設定値) = 設定値 または リミット SET 値 ACTUAL OOO = 実際値 = 短絡回路 = 該当値なし | | 表示機能のみ | | 0 = 外気温度検出器(B9) 1 = 送水温度 または ボイラ-温度(B1) 2 = 室内温度検出器(B5) 3 = 室内ユニット(A6) 4 = 一次側還水温度検出器(B7) 5 = 二次側還水温度検出器(B71) |
| 164 | H 接点, 状態表示 <i>OOO</i> = 接点 : 閉 = 接点 : 開 | | 表示機能のみ | | H1 = オーハ・ーライト・(運転モート・) H2 = ヒートテ・マント・手動操作 H3 = ハ・ラメータロック(地域暖房) H4 = アクチュエータ最小ストロークリミット |
| 165 | 現在の送水温度設定値 | | 表示機能のみ | | 送水温度カーブ, 調整ノブ, ライン 72 リモート 設定値 それと複合外気温度を基に計算 された実際の送水温度設定値 |
| 166 | 現在の送水温度カーブ | | 表示機能のみ | | 調整ノブ, ライン 72 リモート設定値を基に計 算された実際の送水温度カーブ 左:TV1 (外気温 15℃時の送水温度) 右:TV2 (外気温 –5℃時の送水温度) |
| 167 | 凍結防止用,外気温度設定値 | 2.0 °C | ・・・または 0~25 ℃ | ℃ | ··· 設定∶機能無効 |
| 168 | 凍結防止時の送水温度設定値 | 15 ℃ | 0∼140 °C | ℃ | |
| 169 | デバイス No | 0 | 0 016 | | 調節器アドレス(0 = 通信ラインなし) |
| 170 | セグメン No | 0 | 014 | | バスアドレス(例:通信ライン上でゾーン毎) |
| 171 | 送水温度アラーム | ••:••h | ・・・・または 1:00~10:00 | t) h | B1 に接続された送水温度/ボイラ温度が リミット外にあった時間 ・・:・・設定 = 機能無効 |
| 172 | 運転モードオーハ [*] ライト [*] (H1~M 短絡時) | 0 | 0/1/2/3 | | 0 = スタンバイ 1 = 自動 2 = セットバック 3 = 通常運転 |

| ライン | 機能説明 | 工場設定 | 設定レンジ | 設定 | 説明および備考 |
|-----|------------------------------------|-------|----------------------|-----|--|
| 173 | ロック信号増幅 | 100 % | 0~200 | % | 0% = 機能無効 100% = バルブ, 熱交換器を熱源に応じて ロックして熱源温度を補償 (1:1 の割合) 200% = 同上 (但し 1:2 の割合で応答が速い) |
| 174 | ポンプオーバーラン時間設定 | 6 min | 0~40 | min | ボイラ停止時の加熱上昇防止 混合弁の場合:設定不可(1min 固定) バ−ナ含む場合:最低 1min 以上 |
| 175 | 木 [°] ンプ [°] キック | 0 | 0/1 | | 0 = 周期運転無し (長期停止中) 1 = 毎金曜日 10:00, 30 秒間運転 (同上) |
| 176 | サマータイム開始日 | 25.03 | 01.01~31.12 | | 同じ日付に設定する |
| 177 | サマータイム終了日 | 25.10 | 01.01~31.12 | | (日本では夏時間/冬時間不採用の為) |
| 178 | クロック選択(マスター/スレーフ゛) | 0 | 0~3 | | 0 = 各調節器で時間設定 1 = マスターで時間設定 (スレーブ設定不可) 2 = 同上 (スレーブ設定可能) 3 = バスマスター |
| 179 | バス電源サプライ | A | 0/A | | SET 0 = バス電源はセントラル SET A = バス電源は各調節器より ACTUAL 0 = バス電源供給不能 ACTUAL 1 = バス電源供給可能 |
| 180 | ソース・外気温度 | A | A または 00.01~14.16 | | ディスフ[°]レイ無し = スタンドアロン調節器 (バス無し) SET A = 自動設定で ACTUALxx.yy 表示 (xx: セグメント No, yy:デバイス No) 通常, A に設定する |
| 181 | ヒートデマンド出力 (Ux :DC0~10V) | 130°C | 30~130 | °C | DC10V のスケーリング (DC0V=0°C固定) |

4.4.7 接点入力 「H2」 のデマンド機能設定

| ライン | 機能説明 | 工場設定 | 設定レンジ | 設定 | 説明および備考 |
|-----|------------------------|------|-------|----|--|
| 184 | デマンド信号選択 (H2-M 短絡時) | 0 | 0/1 | | 0 = 熱源用デマンド信号(プラントタイプ1,2,3) 1 = 加熱回路用デマンド信号(同上) プラントタイプ4,5 では常に熱源用デマンド |

4.4.8 接点入力 「H2」の機能設定, 一般表示機能

| ライン | 機能説明 | 工場設定 | 設定レンジ | 設 定 | 説明および備考 |
|-----|------------------------|--------|--------|-----|---|
| 185 | H2 機能設定(H2-M 短絡時) | 0 | 0/1 | | 0 = 固定値 (設定値) 1 = 最小値(送水/ボイラ温度最小値優先) |
| 186 | デマンド値 (H2-M) 短絡時 | 70 | 0140 | ℃ | |
| 194 | 運転時間 | 表示機能のみ | | | 調節器の運転時間 |
| 195 | 調節器のソフトウェアバージョン | 表示機能のみ | | | |
| 196 | 室内ユニットのタイプ表示 (番号表示) | | 表示機能のみ | | 82:QAW50, 83:QAW70 62:無効な室内ユニット接続(エラー) |

5. 外形寸法(mm)

| Solution Partner Building Technologies | SIEMENS | 本社 〒211-0012 神奈川県川崎市中原区中丸子 174番地平山ファイン TEL:044-455-9111(代)FAX:044-455-1050 | ンテクノ 2 階 |
|---|---------|--|-------------------------------------|
| ARCHVAC | | 札幌営業所 〒060-0005 札幌市中央区北 5 条西 6 丁目 1-23 | |
| アーチバック株式会社 URL: <u>www.archvac.co.jp/</u> | | 北海道通信ビル3階 TEL:011-200-9588 FAX:011-200-9212 | 2025-04 版 記載内容はお断り無く変更する場合が有ります。 |